

ご来館者向けに、当館を起点にした歴史散歩コースをご紹介します。JR 福井駅へお帰りになるコースとしてまとめましたので、当館近隣散策の参考にご利用下さい。（移動の時間だけ計算すると、45分ほどです）



桜橋を渡って、足羽川（あすわがわ）の南（橋南地区）へ向かいます。写真の逆方向は片町商店街です。



昔、お城の入口（桜門）が片町商店街入口あたりにありました。桜橋の最初の架橋は 1936 年です。



右手（下流）に見える九十九橋（つくもばし）が、北ノ庄とよばれた時代からあった、街道筋の橋です。柴田勝家の幽霊伝説があります。



橋を渡って、そのまま道なりに進んで下さい。前方、通信塔が見えている山が、足羽山（あすわやま）です。羽柴秀吉が柴田の城（川の北岸）を攻める際、布陣したといひます。グリフィスも登っています。福井市街が見渡せます。



旧街道との交差点に出ます。信号を渡ると、左手に石段があります。足羽山の登り口のひとつ、愛宕坂（あたござか）です。駐車場の隣にお蕎麦屋さんがあります。当館からここまで5分ほどで着きます。



行灯による幻想的なライトアップ期間もあります。観光サイトでご確認下さい。



坂を上がりました。左が幕末の国学者橘曙覧（たちばなのあけみ）の記念館。彼の旧宅があった場所です。グリフィスが再来日した時には料亭があり、そこで歓迎されました。右に向かい合っているのが、茶道美術館です。ロビーで一服いかがでしょうか。



このまま登って行くと、足羽神社（福井最古の神社のひとつ）、さらに自然史博物館（その向かいの古墳の上に継体天皇像）、そこから藤島神社（祭神新田義貞）へ降りるコースもあります。時間のある方はどうぞ。（季節には「あじさいロード」を降りるのもおすすめです）。

今回はここで左へ折れて、「横坂」を行います。



横坂です。左が曙覧館の敷地。曙覧と彼の娘の銅像が見えますね。



横坂を降りて行く前方にレトロな建物。水道記念館です。前方で石段を左へ折れて、さらに坂を降ります。



折れた所で振り返って撮っています。右手が今歩いて来た横坂。山上へ上がっている急な石段が「百坂」です。百坂を降りて、まっすぐ進んで下さい。
(百坂の上には展望デッキあり)



水道記念館の建物は 1924 年の建築。約 70 年間町を支えた旧揚水場で、ポンプが残っています。館内は無料で見学できます。(月曜休館)



百坂を降りて進み、旧街道に出ます。横断して住宅地に入ると、すぐ左手に「左内公園」があります。愛宕坂からここまで約5分。



「左内公園」に入る前に、少し寄り道しましょう。住宅地に入ってすぐ右折します。(左内公園を背にして撮っています)



右折した道を直進すると左手に、西光寺保育園があります。境内を通り抜けさせてもらいます。お邪魔します。



柴田勝家とお市の方のお墓です。お寺を拝観させていただける場合もあります。
西光寺さんの HP からお問い合わせになって下さい。



西光寺境内を抜けて左折し、左内公園の方へ戻ります。公園の手前に、橋本左内の菩提所、妙経寺があります。ここまで寄り道時間、約5分。



左内公園の中です。実は「奥の細道」の旅で芭蕉が泊まったのがこのあたりで、左内の銅像の左奥に案内板があります。銅像の右奥に、左内さんのお墓があります。



左内さんのお墓です。1927年に福井で大歓迎されたグリフィスが、自分から行きたいと言った場所がここでした。



お墓を背にして撮っています。まっすぐ進んで、公園を出ます。



公園を出て、まっすぐ（右の柱の奥に見える道）行きます。ちなみに左の柱は、かつての九十九橋の遺構です。



ここで左折すれば足羽川の堤防に出ます。直進して大通りに出て、左折すれば幸橋に出ます。後で由利公正像を見る場合は、前方の信号で大通りを横断しておいて下さい。



幸橋です。最初の架橋が幕末なので、「新橋」とも呼ばれます（九十九橋は「大橋」）。土手の上の道に入る所に、坂本龍馬の歌碑や案内板が立っています。幕末に三岡八郎（由利公正）の家がこのあたりにありました。



大通りの向こう側に、三岡像が立っています。彼ら「毛矢侍」（下級武士）は、幸橋ができるまでは、登城に繰り舟を利用していました。



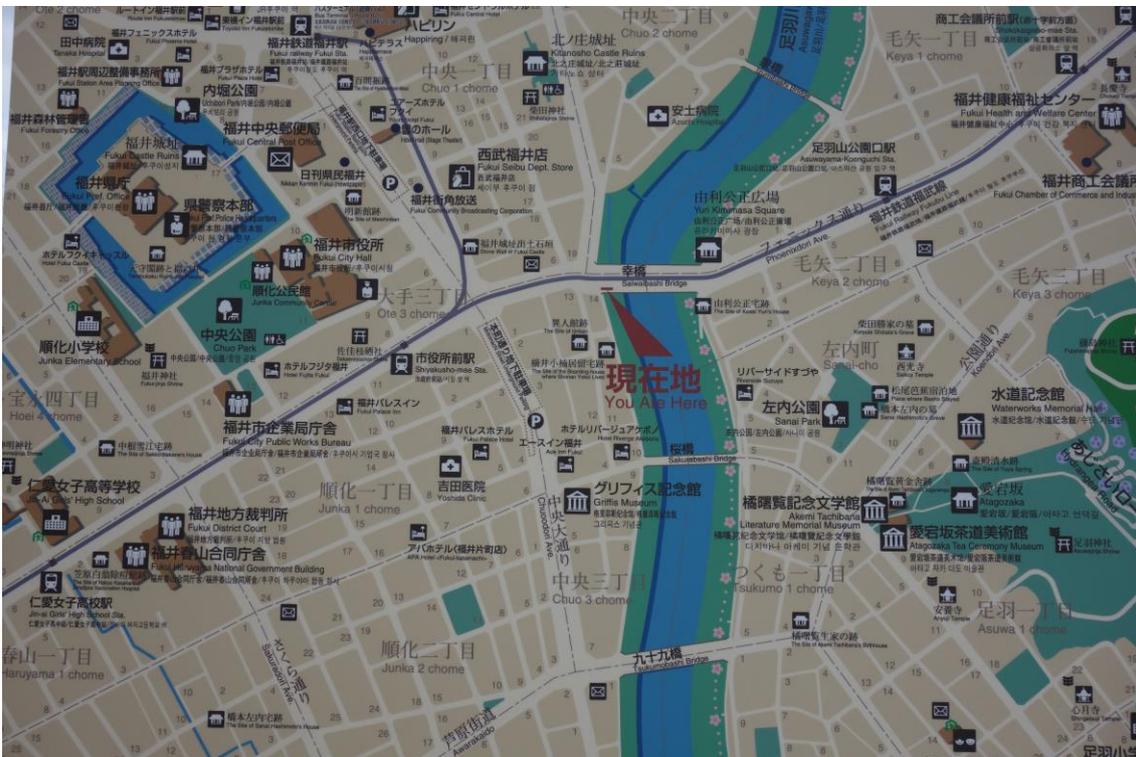
繰り舟をたまに再現しています。(水位の関係で、場所は九十九橋の下です。写真は2016年)。お問い合わせは福井県河川課まで。



幸橋を渡ります。橋の上から見えるグリフィスと日下部太郎。(見えますか?)



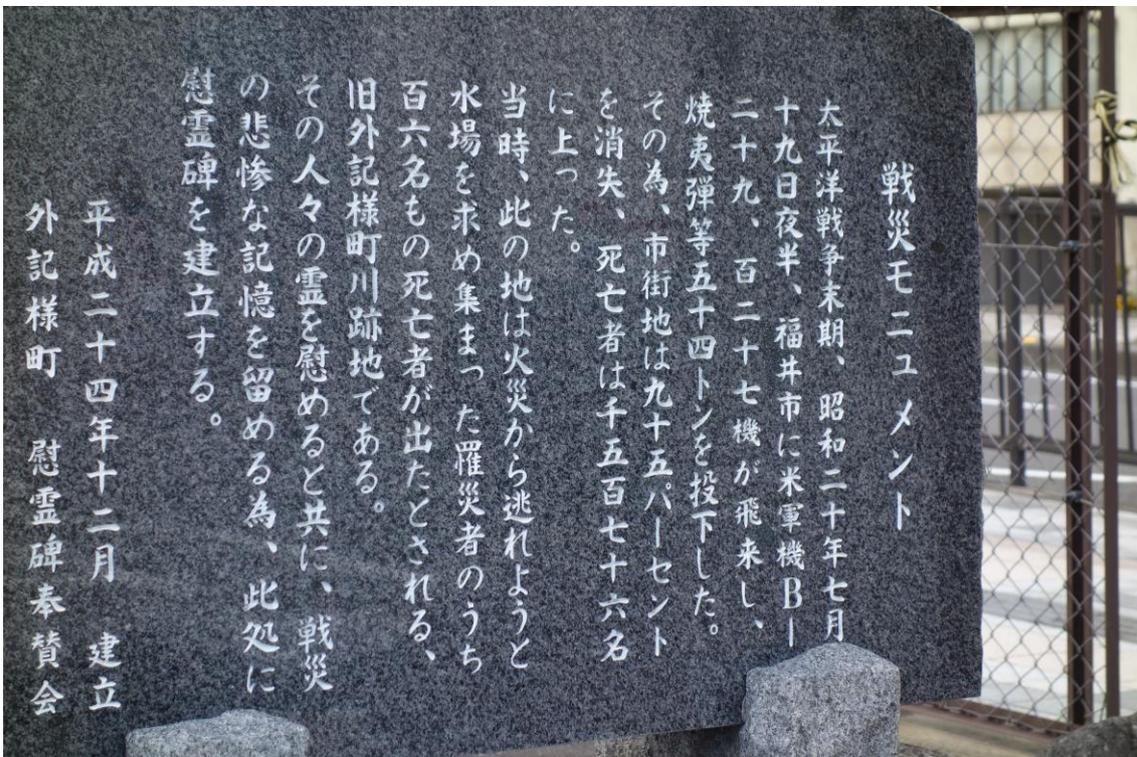
橋を渡ったら右へ。福鉄の線路を横断して、そのまま真っすぐ進みます。



ここまで通ってきた道がわかるでしょうか？（左下が北）。



歩いていると右手（川の方）に石碑が立っています。



このあたりは旧「外記様町（げきさんちょう）」。グリフィスが半年暮らした酒井外記の屋敷の跡地であり、福井大空襲の慰霊碑がある場所です。



さらに進むと大通りの向かい側に「北ノ庄城址公園」が見えてきます。ここで横断しましょう。（左に見える瓦屋根が資料館）左内公園から 10～15 分。



公園にはかつての九十九橋の遺構（移設）。右に見えるのが柴田神社。



資料館内には九頭竜川を渡る舟橋の遺構も。(入館無料)



ここは柴田勝家の城の中心であり、グリフィスがかつて暮らした場所でもあります。境内には柴田やお市の方と娘たちの像もあります。写真の路地を直進して公園を出しましょう。前方正面に小さく見える鳥居をくぐります。



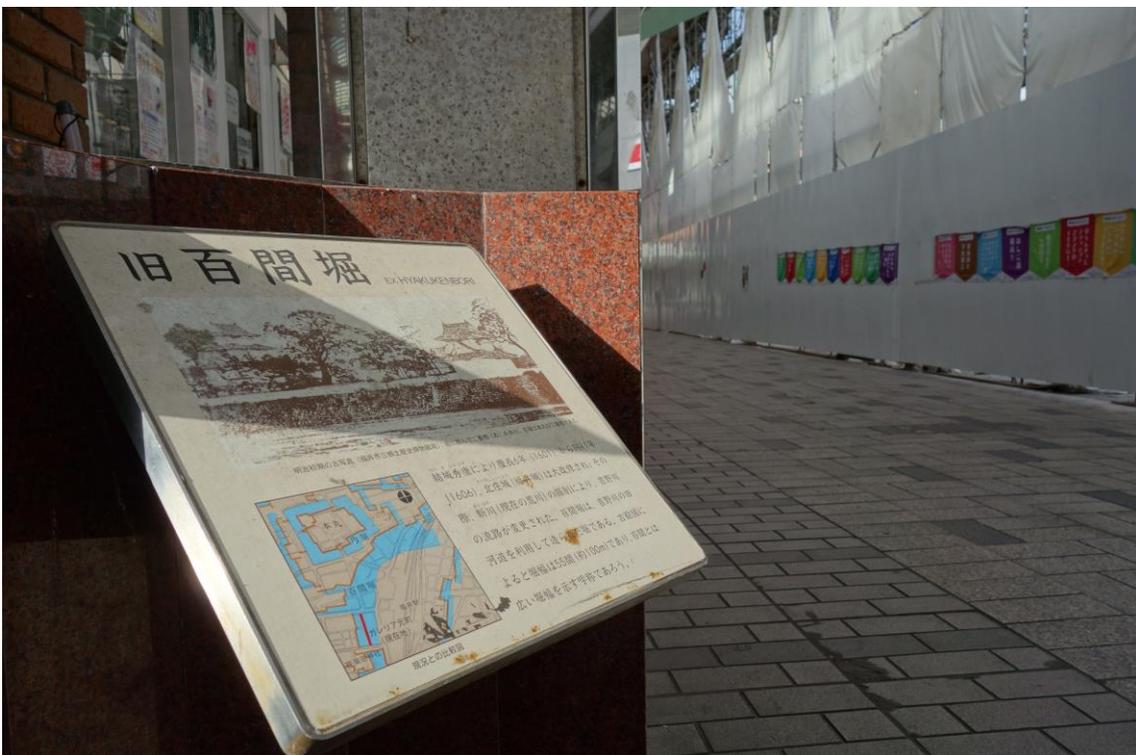
鳥居をくぐって出た所です。そのまま細い路地を直進します。



道の突き当りです。ここで左に折れると西武百貨店。右に折れると・・・



前方のアーケードで左折した後、アーケードを抜けて右折すれば福井駅が見えます。このアーケード街あたりは・・・



福井城で一番大きなお濠でした。(ひゃっけんぼり)



福井駅は旧城内「中の馬場」にあります。お疲れ様でした。



白抜きの道が現代の道路です。オレンジの太い線は旧街道です。
街道に沿って町人のまちがあり、外堀の内側は武士の居住区でした。



↑ 記念から愛宕坂まで (図の桃畑は今は桜並木)



↑ 愛宕坂から左内公園まで



↑左内公園から外記様町（酒井外記邸跡地）まで



↑柴田神社

↑百間堀

↑JR 福井駅

以上、橋南地区から北ノ庄城址公園への歴史散歩ルートでした。

（幕末と現代の重ね地図が福井市立郷土歴史博物館で販売されています。【ここに掲載したものではありません】。歴史散歩にとっても便利です。）